保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを	それでも具合の悪いときはサービス窓口へ	保証期間中の修理は	保証期間の経過後の修理は
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。	お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

●型名：PT-D9W　●故障の状態：できるだけ詳しく　●購入年月日

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Printed in Japan

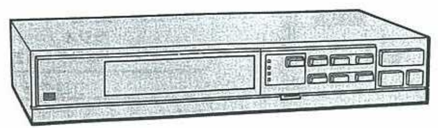
3-769-701-01 (7)

SONY

プログラムタイマー

PT-D9W

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

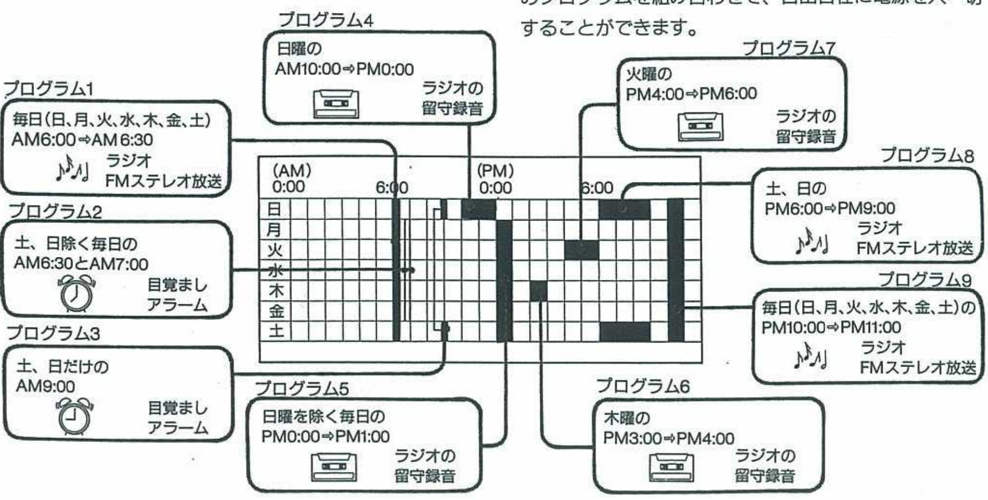
目次

こんなことができます

PT-D9Wは、テープレコーダーやラジオ、カラーテレビ、ビデオなどの電源を、希望の時刻に入(いり)・切(きり)させることのできるタイマーです。

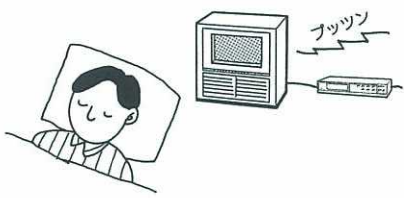
さまざまな時刻設定ができます

希望する曜日と時刻の組み合わせを、1週間で最大9つ(9プログラム)まで設定することができます。この9つのプログラムを組み合わせて、自由自在に電源を入―切することができます。



テレビやラジオを楽しみながらお休みになれるスリープタイマー

時間がくると、テレビやラジオなどの電源を自動的に切ることができます。
時間設定はワンタッチで6通り(15分/30分/45分/1時間/1時間30分/2時間)を選ぶことができ、さらに、1分きざみで24時間まで設定できます。



目覚まし時計としても使えます

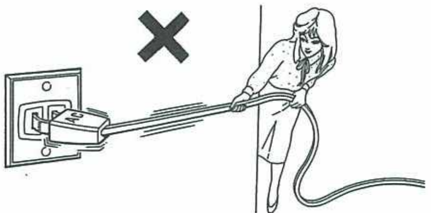
設定した時刻になるとアラーム(目覚まし)音が鳴ります。アラーム音を止めないでおくと、音はだんだん早くなり(四段階)、お目覚めを促します。



正しくお使いいただくために

電源について
家庭用電源コンセント(AC100V)につないでお使いください。国内用ですので海外ではお使いになれません。

電源コード
電源コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。コードに傷がついて火災や感電の原因になります。傷がついたコードは使わないでください。電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。



感電を防ぐために
キャビネットは絶対に外さないでください。内部に手を触れると感電することがあり危険です。

置き場所
次のような場所は避けてください。
- ぐらついた台の上や傾いた所。
- 振動の影響を受けやすい所。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光のあたる所、温度の高い所。
- 極端に寒い所。
- ラジオやテレビのそば。(ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。)

異物について
内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや、金属類を落とさないでください。そのまま使うと火災や感電、故障、事故の原因となります。

留守にするとき
ご旅行などで長い間ご使用にならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

お手入れ
キャビネットやパネル面のよごれは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。

異常や不具合が起きたら
万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードを必ずコンセントから抜いて、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。



- 万一、タイマーの不具合により、録音などがされなかった場合の録音内容などの補償については、ご容赦ください。
- 大切な録音は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。

各部の名称

●内の数字は、参照ページです。

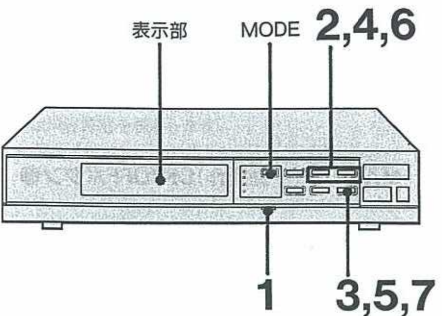
次のページ以降、各ボタンは(　)で囲って表示します。

- MODE(タイマー/アラーム切り換え)ボタン⑩⑱
- 表示部
  通常は現在時刻を表示します。
- AUTO DIMMER(自動明るさ切り換え)
  部屋の明るさに応じて、表示管の明るさが2段階に自動的に調節されます。
- CLOCK SET(現在時刻合わせ)/ZERO SEC(0秒合わせ)ボタン⑧⑩
- CLEAR(取り消し)ボタン㉑㉗㉙
- PGM SET(プログラム設定)ボタン⑫
- −/+ボタン⑧⑫㉕
- MANUAL(手動操作)ON/OFFボタン㉚
  タイマーに関係なく、好きなときに電源を入、切できます。
- SLEEP(スリープタイマー)ボタン㉘
- PGM CHECK(プログラム確認)ボタン㉒
- NEXT(送り)ボタン⑨⑬
- BACK(戻し)ボタン⑨⑭㉗

時計の時刻を合わせるには——時計

⇨つづく

例 金曜日の午前5時29分に合わせるには



点滅表示の意味

表示窓の点滅表示は、「その部分の数字を合わせてください。」という意味です。
正しく合わせたら（NEXT）を押します。次に合わせるところが点滅を始めて、あなたの操作を促します。（これは、次のページ以後も同じです。）

電源コードをコンセントにつないだ直後の表示

AM 0:00 00
点滅しています。

1 （CLOCK SET）を押す

CLOCK SET/ ZERO SEC

AM 0:00 00
SU（日曜日）が点滅します。

2 曜日を合わせる

（－）（＋）
戻すとき　進めるとき

AM 0:00 00

3 （NEXT）を押す

AM 0:00 00

4 「時」を合わせる

AM 5:00 00

5 （NEXT）を押す

AM 5:00 00

6 「分」を合わせる

AM 5:29 00

7 時報と同時に（NEXT）を押す

AM 5:29 00
時計が0秒よりスタートします。

合わせている途中で間違いに気付いたら

間違えたところが点滅するまで（BACK）を押し、そこから合わせ直します。
（例：分が点滅しているとき（BACK）を押すと、時が点滅します。）


⇨つづき

時計の時刻を合わせるには——時計

秒の狂いを直すには（時計の狂いが30秒未満の修正）

1 CLOCK SET/ ZERO SEC 押す　　時計は0秒で止まります。

2 時報と同時に押す　　時計は0秒からスタートします。

秒表示が「30」未満のとき

AM 1:25 20 → AM 1:25 00
00～29
その分の「00」秒に戻る

秒表示が「30」以上のとき

AM 1:25 30 → AM 1:26 00
30～59
表示されている次の分の「00」秒になる

時計の狂いが30秒以上のときや、「分」「時」まで直すときは前ページをご覧ください。

ひとくち情報

表示文字の意味

AM	PM	SU	MO	TU	WE	TH	FR	SA
午前	午後	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜

AM0:00	PM0:00
真夜中	正午

（12時間表示の場合）

合わせる速さは2通り

（－）、（＋）は、1度押すごとに数字が1つずつ進み（戻り）ます。押し続けると早く進み（戻り）ます。

合わせられるのは点滅部分だけ

「分」合わせのとき、59分の次は1時間くり上がらずに00分に戻ります。「時」合わせのときは、PM11:00からAM0:00になっても、曜日は変わりません。

24時間表示にするには

時刻合わせ中に、（MODE）を押します。12時間表示に戻すときは、時刻合わせ中に、再度（MODE）を押します。

つなぎかた（例）

1 図のように接続する

安全のため各機器の電源を「切」にしておきます。

タイマー（本機）
壁のコンセントへ
出力コンセントへ
（左右どちらに差しても同じです。両方同時にも使えます。）
アンプ
カセットデッキ
チューナー

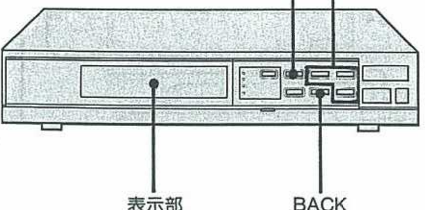
2 接続した各機器の電源スイッチを「入」にする

つないだ機器の電源はタイマー操作でON/OFFすることになります。

- 合計で最大1,000Wまでの機器をつなぐことができます。
- 万一の火災や事故を防ぐために、熱器具や電動器など危険を生じる恐れのある器具には、ご使用にならないでください。
- 各機器間の接続はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

希望の時刻に電源を入・切するには —— プログラムタイマー

例 土曜日と日曜日の　午前11時30分に電源を入れ、午後1時00分に電源を切るには



電源が入ってから切れるまでの長さは**最大23時間59分**まで設定できます。

1 (PGM SET) を押す

P1はプログラム番号です(⑯ページ参照)

2 「曜日」を合わせる

戻すとき　進めるとき

SU,SAを点滅させます。

押すたびに、順に、次のような曜日を選ぶことができます。

SU、MO、TU、WE、TH、FR、SA(毎日)
⇩
MO、TU、WE、TH、FR、SA(日曜を除いた毎日)
⇩
MO、TU、WE、TH、FR(土、日を除いた毎日)
⇧
SU、SA(土、日のみ)
⇧
SU、MO、TU、WE、TH、FR、SAのうち、希望の曜日を表示させる。(週のうちどれか1日)
⇨ SU、MO、TU、WE、TH、FR、SA(毎日)

3 (NEXT) を押す

4 電源を入れたい時刻の「時」を合わせる

5 電源を入れたい時刻の「分」を合わせる

TIMER表示

表示部にTIMERの文字が表示されていることを確かめてください。表示されないときは⑯ページ以下を参照して表示させてください。

つづく⇨

⇨つづき

希望の時刻に電源を入・切するには —— プログラムタイマー

6 電源を切りたい時刻の「時」を合わせる

7 電源を切りたい時刻の「分」を合わせる

合わせた時刻が表示され、確認できます。

「入」時刻：午前11時30分

3秒間表示されます。

⇩

「切」時刻：午後1時

3秒間表示されます。

⇩

現在時刻表示

合わせている途中で間違いに気付いたら

手順1〜2の途中	(BACK)を押すと**現在時刻表示に戻ります。**初めから設定しなおしてください。
手順3〜7の途中	(BACK)を押すと、点滅表示を前の手順に戻すことができます。訂正したら(NEXT)を押し、次の手順に進みます。

8 希望した時刻がくると………

電源「入」の時刻がくると

自動的に電源が入ります。

OUTLET表示(赤)が出ます。

電源「切」の時刻がくると

ブッツン

自動的に電源が切れます。

OUTLET表示も消えます。

OUTLET表示

本機を通して、接続した機器に電源が供給されていることを示します。

ラジオを留守録音するときは

ラジオの留守録音をプログラムするとき、OUTLETが表示されている場合には、すでに電源が入っている状態なので希望の時刻に録音を始めることができません。(MANUAL)を押してOUTLET表示を消してからプログラムしてください。

ひとくち情報

30秒間、何もしないと

プログラムの設定中に、30秒たっても次の操作を行わないと、自動的に現在時刻表示に戻ります。
このとき、手順6まで終わっていれば、その時刻設定により、プログラムタイマーが働きます。

停電したときは

ちょっとした停電や部屋の中での移動などで電源が切れたときでも約10分以内なら大丈夫。時計が狂ったり、予約内容が消えたりする心配はありません。

約10分をこえた停電をしたときは、時刻の表示が「AMO: 00」で点滅します。

時計合わせやプログラム設定をやり直してください。

さまざまなプログラムを組み合わせて使うには

つづく⇨

前ページまでの操作では、P1(プログラム1)だけに時刻を設定しました。しかし実際は**P1〜P9まで9つのプログラム**に希望の時刻を設定できます。また、この9つのプログラムに、**次のような機能を自由に設定**することができます。

機　能	働　き
プログラムタイマー (⑫ページ)	希望する時刻に、接続した機器の電源を「入」「切」することができます。 表示部には［TIMER］の文字が出ます。
アラーム (⑬ページ)	希望する時刻にアラーム音が鳴ります。目覚まし時計としてお使いいただけます。 表示部には［((●))］の記号が出ます。
アラーム/タイマー (⑬ページ)	希望する時刻に、接続した機器の電源を「入」「切」することができます。また、電源の「入」時刻と「切」時刻にアラーム音を鳴らすことができます。 表示部には［((●)) TIMER］の両方が出ます。
プログラムオフ (㉑ページ)	プログラムを実行したくないとき、設定した時刻は記憶させたまま実行させないことができます。 表示部には［　］上記の各記号は出ません。

プログラムの例 (実際の操作は次ページ)

P1(プログラム1)
「入」時刻 AM 7:00 P1 (MO TU WE TH FR) → 「切」時刻 AM 7:30 P1
土日を除く毎日、午前7時00分にアラームを鳴らして → 午前7時30分にも、再びアラームを鳴らす。

P2(プログラム2)
「入」時刻 AM 8:15 P2 TIMER (SU SA) → 「切」時刻 AM 8:30 P2 TIMER
土日のみ午前8時15分に電源を入れて、同時にアラームを鳴らして → 午前8時30分に電源を切り、同時にアラームを鳴らす。

P3(プログラム3)
「入」時刻 PM 3:20 P3 TIMER (FR) → 「切」時刻 PM 4:15 P3 TIMER
金曜日の午後3時20分に電源を入れて → 午後4時15分に電源を切る。

⋮

以下、**P9まで同様に設定できます。**

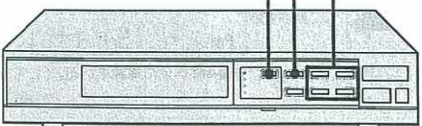
⇨つづき

さまざまなプログラムを組み合わせて使うには

⇨つづく

例　**前ページのP2(プログラム2)を設定するには**
(土日のみ、午前8時15分に電源を入れて、同時にアラームを鳴らし、午前8時30分に電源を切り、同時にアラームを鳴らすには)

P1には、すでに⑫ページのプログラムが設定されているものとします。



1 (PGM SET) を押す

SU MO TU WE TH FR SA -:- - P2 TIMER

P2が表示されます。
(P1は設定すみなので表示されません。)

2 (MODE) を押し、機能を選ぶ

希望の機能が表示されるまで押します。
右図の4つの機能がくり返し表示されます。

この例では((●))とTIMERを表示させます。

(MODE)の変更
手順2の(MODE)設定は、手順3の時刻設定が終わる以前なら、いつでも変更できます。

機能	表示
プログラムタイマー	-:- - P2 TIMER (TIMER表示)
アラーム	((●)) -:- - P2 (アラーム表示((●)))
アラーム／タイマー	((●)) -:- - P2 TIMER (((●))とTIMER同時表示)
プログラムオフ	SU MO TU WE TH FR SA -:- - P2 (無表示)

3 希望する曜日と時刻を合わせる
(方法は⑫ページ手順2〜7と同じです)

[−] [+]　「入」時刻 AM 8:15 P2 TIMER
[NEXT]　「切」時刻 AM 8:30 P2 TIMER

続いてP3,P4,P5…を設定するには
手順1〜3をくり返します。

TIMERや((●))の表示
P1〜P9のいずれかに設定されたTIMERや、((●))の表示は、現在時刻のときにも表示されます。

「FULL」表示
プログラムがいっぱいになり、これ以上プログラムを設定できないことを示します。

FULL

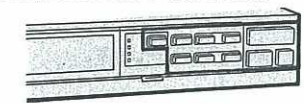
さまざまなプログラムを組み合わせて使うには

アラームの使いかた

「入」時刻と「切」時刻を同じに設定すると	「入」時刻と「切」時刻を別の時刻に設定すると
「入」時刻　AM 7:00 P 1（TH ON） 「切」時刻　AM 7:00 P 1（FR OFF） 同時刻に合わせる (例:午前7時にアラームを設定すると、午前7時にアラームが鳴ります。) AM7:00	「入」時刻　AM 6:30 P 1（TH ON） 「切」時刻　AM 7:00 P 1（FR OFF） (例:午前6時30分と7時にアラームを設定すると、「入」時刻と「切」時刻の2回アラームが鳴ります。) 目ざまし　AM6:30(「入」時刻) もう一度めざまし　AM7:00(「切」時刻)

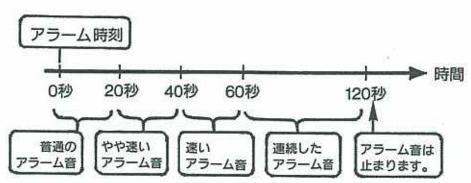
鳴っているアラームを止めるには

どれかひとつボタンを押します。



アラームが止まっても、アラーム機能は継続しますので、設定した時刻になると再び鳴ります。

だんだん速くなる四段階アラーム



プログラムを実行したくないときは(プログラムオフ)

設定した時刻は記憶させたまま、プログラムを実行させないことができます。一時的な予定変更があったときなどに便利です。

1 (PGM CHECK) を押し、実行したくないプログラムを表示させる。
2 (PGM SET) を押し、曜日の表示を点滅させる。
3 (MODE) を押し、TIMERや((●))の表示を消す(プログラムがキャンセルされる)。

すべてのプログラムを実行したくないときは

留守にするときなど、設定してあるプログラムの全てを実行したくないときは、現在時刻表示の状態で (MODE) を押したまま (CLEAR) を押します。
表示部から、TIMERや((●))の表示が消えます。
全てのプログラム設定時刻は記憶されたまま実行されません。
実行に戻したいときは、㉖ページの方法で設定し直してください。

プログラムを確認するには

NEXT
BACK
PGM CHECK

(PGM CHECK) を押す

PGM CHECK

確認したいプログラム番号が表示されるまで押します。

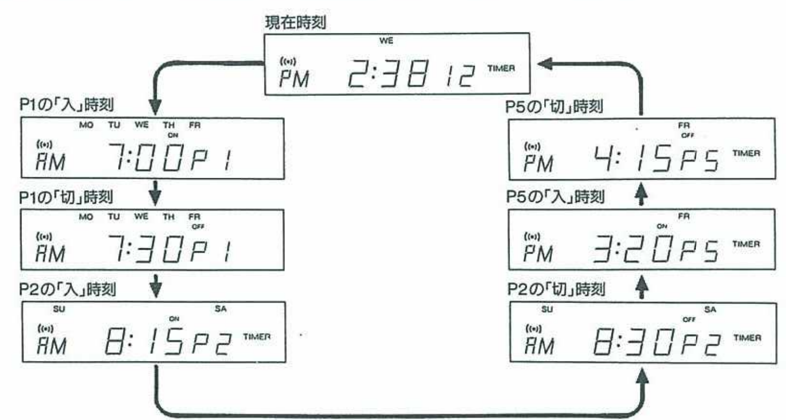
いきすぎたときは

(BACK) を押して戻すことができます。
現在時刻表示まで戻ると、そのあとは戻せません。

現在時刻表示に戻すには

(NEXT) を押します。

次のような順で表示がくり返されます。(例:プログラム1、2、5が入っているとき)



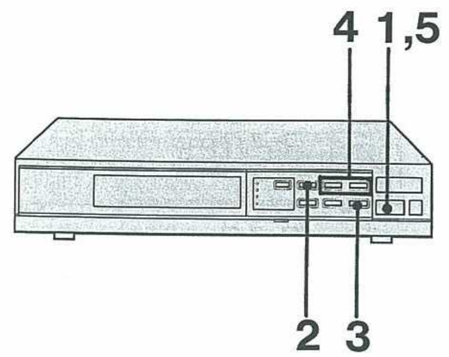
(PGM CHECK) を押しても、空いているプログラム番号が途中にあればその番号は表示されず次に移ります。

プログラム確認中に30秒たっても次の操作を行わないと
自動的に現在時刻表示に戻ります。

プログラムを修正するには

設定した時刻を変更するには

例 **プログラム2の「入」時刻を、午前8時15分から8時00分に変更するには**



1 修正したいプログラムを表示させる
(㉒ページ参照)

2 (PGM SET) を押す

PGM SET
AM 8:15 P2 TIMER

3 修正したいところを点滅させる

NEXT
AM 8:15 P2 TIMER

行きすぎたときは
(BACK) を押して戻します。

4 希望の時刻に合わせる

戻すとき　進めるとき
AM 8:00 P2 TIMER

5 (PGM CHECK) を押す

PGM CHECK
AM 8:00 P2 TIMER

現在時刻表示に戻すときは
(NEXT) を押します。

30秒間、何もしないと

プログラムの修正中に、30秒間たっても次の操作を行わないと、自動的に現在時刻表示に戻ります。
このとき、手順4まで終わっていれば、その時刻設定により、プログラムタイマーが働きます。

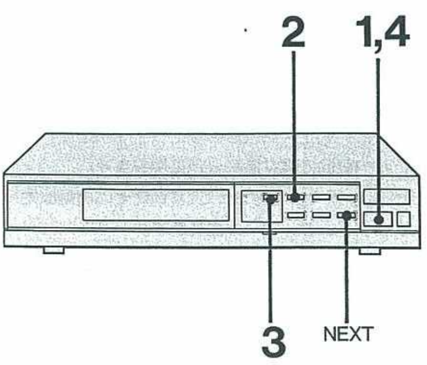
つづく⇨

⇨つづき

プログラムを修正するには

設定したプログラムの機能を入れ換えるには

プログラムタイマーやアラーム、アラーム/タイマー、プログラムオフの各機能は、使用途中でも、設定した時刻は変えないで、機能だけを変えることができます。



1 入れ換えたいプログラムを表示させる
(㉒ページ参照)

2 (PGM SET) を押す

3 (MODE) を押す

MODE

希望の表示がでるまで押します。
(⑱ページ参照)

4 (PGM CHECK) を押す

1で表示したプログラム設定時刻に戻ります。
現在時刻表示にしたいときは、次に (NEXT) を押します。

プログラムを取り消すには

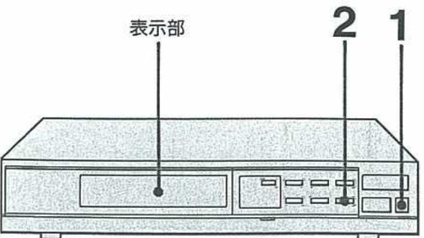
手順2の (PGM SET) を押したあと、(CLEAR) を押します。これでそのプログラムは取り消されます。

現在時刻表示に戻すには

(BACK) を押します。なお、30秒間たっても次の操作をしないと、自動的に現在時刻表示に戻ります。

テレビやラジオを楽しみながらお休みになるには ―― スリープタイマー

一定の時間がたつと自動的に電源を切ります。ラジオを聞いたり、テレビを見たりしながらおやすみになるときなどに便利です。



1 希望の時間を設定する

SLEEP
何度か押す
1:30
SLEEP, OUTLET表示

(SLEEP) を押し、次の時間が設定できます。

15分 → 30分 → 45分 → 1時間 → 1時間30分 → 2時間 → 15分

同時に、電源が自動的に入ります。

2 現在時刻表示にする

NEXT
PM 5:29 29

(NEXT) を押さずにそのままにしても
15秒後に自動的に交互表示を開始します。(次ページ)

3 交互表示となる

12秒間：現在時刻表示
⇩
3秒間：スリープ残り時間表示
(スリープタイマーの残り時間が確認できます。)

スリープタイマー時間を細かく設定するには

手順1のあと、点滅表示している間ならば、⊞、⊟を使い、1分刻みで希望の時間を設定できます。
時間は、1分〜24時間00分まで設定できます。なお、0:01から⊟を押すと、24:00(最長時間)の表示になります。

スリープタイマーの時間を変えるには
スリープタイマーの動作中でも、(SLEEP) を押して新たに設定すると、新しい設定で働きます。

スリープタイマーを解除するには
(MANUAL) を押します。(SLEEP、OUTLET表示が消える。)

スリープタイマーを止めてON状態を続けるには
(CLEAR) を押します。スリープタイマーが解除されて、そのままON状態を続けます。(SLEEP表示が消える。)

手動で電源を入・切するには ―― マニュアル操作

プログラムタイマーの設定時刻に関係なく、テレビやラジオなどを動作させたいときに使います。



電源を入れるとき

MANUAL
ON/OFF
PM 3:28 15
OUTLETが表示されます。

電源を切るとき

もう一度
MANUAL
ON/OFF
PM 4:35 30
OUTLET表示が消えます。

プログラムタイマーの設定時間中に手動操作したときの電源コンセントの働きは㉝ページを参照してください。

希望の時刻に電源を切るには ―― オフタイマー

マニュアル操作でテレビやラジオをお楽しみ中、スリープタイマーボタンを押さずにうっかり寝てしまっても、朝までつけっぱなしといった消し忘れをなくすことができます。

(例) PM11:00に電源を切りたいとき

「入」時刻
PM 11:00 P5 TIMER

「切」時刻
PM 11:00 P5 TIMER

同時刻に合わせる。

P1〜P9のいずれかにすること。「入」時刻と「切」時刻が同じプログラム番号のこと。

TIMER表示にすること。

これでPM11:00になれば、自動的に電源が切れます。

- この機能(オフタイマー)は、前ページのマニュアル操作による電源「入」のときだけ働きます。
- 左図のように、曜日を「毎日(日〜土)」に設定すれば、マニュアル操作で電源の入らない日はそのまま、電源の入っている日だけ設定した時刻に電源が切れるように働きます。

2つ以上の機能が重なったときは

機能	電源コンセントの働き	
2つ以上のプログラムが重なったとき	2つ以上プログラムされているときは、そのうちのいちばん早い「入」の時刻になると、電源が入ります。また、いちばん遅い「切」の時刻になると、電源が切れます。 また、「入」と他のプログラムの「切」の時刻が重なったときは、プログラム2の「切」時刻まで電源は切れません。	プログラム1: ON PM5:00 OFF PM7:00 プログラム2: ON PM6:00 OFF PM8:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM8:00 プログラム1: ON PM5:00 OFF PM8:00 プログラム2: ON PM6:00 OFF PM7:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM8:00 プログラム1: ON PM5:00 OFF PM7:00 プログラム2: ON PM7:00 OFF PM8:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM8:00
プログラムとオフタイマーが重なったとき	2つ以上のプログラムと、オフタイマーがプログラムされているときは、プログラムの方に従って入・切します。 (オフタイマーとしては働きません。)	プログラム1: ON PM6:00 OFF PM10:00 プログラム2(OFFタイマー): ON/OFF PM8:00 電源コンセントの入・切: ON PM6:00 OFF PM10:00

ON/OFF:オフタイマー設定時刻

機能	電源コンセントの働き	
プログラムとマニュアル(手動)操作が重なったとき	マニュアル操作で電源が入っているとき、プログラムで「切」にされると電源が切れます。 マニュアル操作で電源が入っているとき、さらにプログラムで「入」にされても変わりません。 その後、マニュアル操作で「切」にすると電源が切れます。	プログラム: ON PM6:00 OFF PM8:00 マニュアル: ON PM5:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM8:00 プログラム: ON PM6:00 OFF PM8:00 マニュアル: ON PM5:00 OFF PM7:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM7:00 プログラム: ON PM6:00 OFF PM10:00 マニュアル: OFF PM8:00 ON PM9:00 電源コンセントの入・切: ON PM6:00 OFF PM8:00 ON PM9:00 OFF PM10:00
マニュアル操作とオフタイマーが重なったとき	マニュアル操作で電源が入っているとき、プログラムにオフタイマーが設定してあれば、オフタイマー設定時刻になると自動的に電源が切れます。(31ページ参照)	マニュアル: ON PM5:00 プログラム(OFFタイマー): ON/OFF PM8:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM8:00

2つ以上の機能が重なったときは

機能	電源コンセントの働き	
プログラムとスリープタイマーが重なったとき	スリープタイマーの「切」時刻より前にプログラムの「切」時刻が設定してあっても、スリープタイマーで設定した「切」時刻になると電源が切れます。 (スリープタイマーが優先します。)	プログラム: ON PM5:00 OFF PM7:00 スリープタイマー(2時間のとき): ON PM6:00 OFF PM8:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM8:00 プログラム: ON PM6:00 OFF PM9:00 スリープタイマー(2時間のとき): ON PM5:00 OFF PM8:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM8:00
スリープタイマーとオフタイマーが重なったとき	スリープタイマーの「切」時刻より前にオフタイマー設定時刻があっても、スリープタイマーの「切」時刻になったときに電源は切れます。 (オフタイマーとしては働かず、スリープタイマーが優先します。)	スリープタイマー(2時間のとき): ON PM5:00 OFF PM8:00 ON/OFF PM6:00 電源コンセントの入・切: ON PM5:00 OFF PM8:00

主な仕様

電源	AC100V、50Hz/60z	
消費電力	7W	
時刻表示	12時間方式/24時間方式 時刻セット時に選択	
時計周期方式	クォーツロック方式	
時計精度	月差 ±15秒(常温)	
プログラムセット		
タイマーセット	1分刻み、ON/OFF	合計9組セット可能
アラームセット	1分刻み、ON/OFF	
スリープセット	15分、30分、45分、1時間、1時間30分、2時間のワンタッチ6段方式 (微調整1分刻み、1分〜24時間)	
タイマー精度	+0.02秒以内	
停電補償時間	約10分間(通電時間24時間以上のとき)	
電源コンセント	連動コンセント 2個 合計1,000W以下	
最大外形寸法	270×48×115mm (幅/高さ/奥行き)	
重量	約850g	

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。